

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	057 地域再生計画・構造改革特区に係る総合調整及びその他庁内調整業務					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市職員
目的	政策立案及び事業企画に係る国や県等からの情報を収集し、庁内に共有するとともに、部局横断的な案件の調整を図る。
概要 (取組内容)	国や県等から市町村企画担当課宛てに展開される情報を収集し、庁内に周知する。 部局横断的な施策や事業の実施意向を尋ねられた場合に、担当部署を特定し、調整を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	204	164	167	155	155	
	決算額	(千円)	195	39	93	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	195	39	93	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,409	2,415	2,337	2,337	2,337	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	150.00	120.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国等における制度について、庁内に周知するだけでなく活用を希望する部署からの相談に応じ、個別に意見交換をしながら検討した。	
成果	国等からの補助金・交付金の募集通知を庁内に周知することで、広く応募の機会を設けることができた。デジタル田園都市国家構想交付金を申請したことで財源を確保した。	
課題	業務	国等の政策動向と市の中長期計画との間で整合性を図る必要があるため、市全体の事業に関する知識や各課等との調整能力が求められることから、継続的な人材育成を要する。
	組織、予算等	継続的な人材育成をするため、交付金申請に係るノウハウの伝達が必要である。
改善目標	国等からの補助金・交付金の情報を速やかに庁内に周知し、活用を促進するとともに、市の事業計画に照らし合わせて、個別に伝達する機会を増やす。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	060 市長公約事業のロードマップ事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	公約事業の着実な実施を図る。
概要 (取組内容)	市長が選挙時に掲げた公約における6本の柱及び135の事業について、実施時期と工程等を各個票に落とし込んだロードマップを作成した上で、進捗管理や評価を実施し公表する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	70	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	7	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,374	4,587	5,354	5,354	5,354	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.60	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	250.00	200.00	240.00	240.00	240.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ロードマップの公表と市民意見の募集
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年12月に公表した市長公約事業のロードマップ2020-2024について、進捗状況等を更新し、評価した上で、令和4年6月に広く公表した。	
成果	ロードマップにおける各事業の進捗状況を明らかにすることで、市政の透明性を担保することができた。	
課題	業務	第一期ロードマップと比較した公約事業の増加に対して、効率的な評価の実施を進める必要がある。
	組織、予算等	各事業を進めていくに当たり、担当者が市長及び副市長と協議する仕組みを検討する必要がある。
改善目標	令和4年度末の進捗評価を効率的に実施し、各事業の進め方を確認した上で、市長公約事業のロードマップ2020-2024を改訂し、令和5年度以降の見通しをわかりやすく市民に提供する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	061 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合「幸せリーグ」					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合規約			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	幸せリーグ参加自治体					
目的	住民の幸福実感向上に向けた基礎自治体間の相互の連携・協力、自治体職員の学びの場を設けることにより、基礎自治体が互いに切磋琢磨し、行政運営の一層のレベルアップを図る。					
概要 (取組内容)	幸福度の研究、住民の幸福実感向上に向けた施策等について情報交換及び意見交換を行うとともに、全国にその内容を発信し、基礎自治体における幸福度の取組を広める。 調査研究、意見交換、交流等を通じて、参加基礎自治体の職員の育成を図る。 実務者会議に参加し、テーマごとにグループに分かれ、年に数回集まって政策に関する議論を行う。					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	17	17	18	17	17	
	決算額	(千円)	0	5	5	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	5	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	733	730	730	730	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	得られた他の市区町村の情報を基に、本市の施策や事業改善を検討した。	
成果	加入自治体が一堂に会しての会議は実施できなかったが、加入自治体の先進的な取組紹介等のオンライン開催により情報を得ることができた。	
課題	業務	実務者会議がオンライン開催であったため、加入自治体間で施策や事業について互いの意見を交換する機会が得られなかった。
	組織、予算等	実務者会議で得られた情報について、庁内でどのように共有するか検討する必要がある。
改善目標	実務者会議に参加し、住民の幸福度向上につながる取組についての情報を収集するとともに、得られた情報を庁内で共有することを通して施策や事業の改善につなげる。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	062 首都圏業務核都市首長会議事務					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	多極分散型国土形成促進法、首都圏業務核都市首長会議規約			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	業務核都市に位置づけられた21市
目的	業務核都市に位置づけられた市の意見交換や連絡調整を行うとともに、共同で国への要望等を行う。
概要 (取組内容)	多極分散型国土形成促進法に基づき、首都圏業務核都市として位置づけられた21市の首長が年1回会議を開催し、業務核都市の育成整備等について意見交換を行う。 幹事会議（担当部局長等が出席）を年3回開催し、国の動向等の情報を収集するとともに、国に対して要望活動を実施する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	38	31	31	39	39	
	決算額	(千円)	0	0	7	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	7	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	733	730	730	730	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、一部の幹事会を対面開催することで21市における連携体制の構築の一助となった。	
成果	書面での首長会議を経て、国土交通省に業務核都市の育成整備等に関する要望事項を提出することができた。	
課題	業務	広く国土交通行政の動向を把握しながら、市の施策や事業の推進に資する情報を収集することが必要である。
	組織、予算等	-
改善目標	幹事会が開催された場合には、市の施策や事業の推進に資する情報を積極的に収集する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	063 国・県に対する予算等要望					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよ	

事業の概要

対象	国及び県
目的	市政の推進に必要となる政策や予算に関して国及び県に要望する。
概要 (取組内容)	関係部署から要望内容を取りまとめ、要望先へ要望書又は要望事項を提出する。茨城県予算編成等要望については、つくば市固有の課題を中心に要望書をまとめ、知事に手交する。県政要望及び全国市長会関東支部総会提出案件については、広域的な課題を中心に要望事項をまとめる。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	63	20	19	14	14	
	決算額	(千円)	4	0	9	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4	0	9	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,286	2,294	2,239	2,239	2,239	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度実施した要望内容に係る進捗状況を確認の上、継続要望の要否を検討し、要望事項を精査した。	
成果	予防接種等に関する財政措置、地元企業への経済支援、県立高等学校への進学環境の充実など、本市が推進する事業に関連する要望を実施することができた。	
課題	業務	県への要望事項の中には、実現可能性が低いと想定されるものがあるため、今後どのようにして実現を目指していくのか検討する必要がある。
	組織、予算等	要望実施により得られる効果と人的コストを比較し、適切な実施方法を再考する必要がある。
改善目標	要望の実現が難しい事項について、要望書の記述内容の見直しや、県の担当者との直接交渉など方法を再考するなど、実現に向けた方策を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	064 友好都市交流事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	友好都市提携協定（荒川区、郡山市）			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	友好都市提携協定を締結した自治体、市民
目的	地域間交流を促進し、広範な分野での都市間交流を図る。
概要 (取組内容)	友好都市提携協定を締結した2都市と都市間交流を行う。 荒川区（平成20年(2008年)5月28日 協定締結） 郡山市（平成26年(2014年)10月31日 協定締結）

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	154	75	76	72	72	
	決算額	(千円)	0	0	17	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	17	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	733	730	730	730	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	友好都市との交流回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	5.0	3.0	4.0	5.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	オンラインによる交流が主流となる中、郡山市とは対面による交流活動ができた。	
成果	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、各自治体のパネル展示や特産品等の抽選会、市民が作成した灯ろうの巡回展示等、様々な形で交流事業を実施し、都市間交流を進めることができた。中でも、郡山市とは学校給食による交流において、対面での都市間交流が実施できた。	
課題	業務	イベント等での交流だけに留まらず、市政推進の参考とするため、各自治体の施策や事業の実施状況に対する理解を深める必要がある。
	組織、予算等	荒川区と郡山市は共に自治体間交流の担当部署が設置されており、イベントを通じた交流が目的であるため、本市における組織のあり方を検討する必要がある。
改善目標	市政推進の参考とするため、各自治体の施策や事業の実施状況を把握し理解を深める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	065 地方版図柄入りナンバープレート事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方版図柄入りナンバープレート導入要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	走る広告塔としてつくばナンバー地域の魅力を発信するため、図柄入りナンバープレート交付推進のためのPR活動を行う。
概要 (取組内容)	つくばナンバー交付対象の13自治体で構成する「つくば地域図柄入りナンバー推進協議会」が、地方版図柄入りナンバープレートの普及促進事業を地域一体となって実施する。 地方版図柄入りナンバープレートの交付により得た寄附金の活用方を検討する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	100	50	50	50	50	
	決算額	(千円)	50	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	50	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,508	1,513	1,460	1,460	1,460	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	60.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	図柄入りつくばナンバー申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,000.0	7,500.0	10,000.0	13,000.0	21,000.0	26,000.0
	実績	5,570.0	8,251.0	11,892.0	16,921.0	0.0	0.0
	指標の概要	関東運輸局調べ					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	イベント会場において制度の周知に努めるとともに、寄附金活用事業について、各会員自治体の意向をくみ取った上で活用方針を明らかにすることとした。	
成果	継続した普及促進活動によって、申請件数が関東運輸局管内で首位を維持していることから、今もなお関心が寄せられていることが推察でき、地域の魅力発信につながっていると考えられる。	
課題	業務	寄付金活用事業を効果的に実施するための検討を進める必要がある。
	組織、予算等	-
改善目標	寄付金活用事業について、各会員自治体の意向をくみ取りながら検討を進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	066 ユニバーサルデザイン推進事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約	52			係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	バリアフリー法、ユニバーサル社会実現推進法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、市、事業者、市民団体、NPOなど
目的	誰もが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現に取り組む。
概要 (取組内容)	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づいたまちづくりを全庁的に推進する。 ・職員研修（人事課） ・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理 つくば市バリアフリーマスタープランを策定する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	80	80	7,509	10,298	140	
	決算額	(千円)	79	79	6,358	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	79	79	3,223	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	3,135	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	2,221	5,061	5,061	5,061	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.30	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	70.00	120.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	つくば市バリアフリーマスタープラン策定協議会、市民アンケート、関係団体ヒアリング、まち歩き点検
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	ユニバーサルデザイン職員研修参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	75.0	0.0	138.0	79.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和5年度のバリアフリーマスタープラン策定を見据え、令和4年度はつくば市バリアフリーマスタープラン策定協議会を設置し、市民アンケート、関係団体ヒアリング、まち歩き点検といった基礎調査を実施した。	
成果	バリアフリーマスタープランの策定に向け、令和4年度には、市民アンケートによる統計的な分析や、各関係団体へのヒアリング調査により顕在化した具体的な困りごと等を把握した上で、実際に街中を歩いてバリアフリーの現状を点検したことで、令和5年度に具体的な計画として練り上げていく素地が整った。	
課題	業務	バリアフリーマスタープランを策定するためには、都市計画、公共交通、地域福祉など関連施策との整合性を図る必要がある。
	組織、予算等	関係団体や市民団体との連携が不可欠であり、調整に多くの時間を要することから、人員の拡充が必要である。
改善目標	バリアフリーマスタープランの策定に向けて、関連施策との整合を図っていく必要がある。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	070 民間企業との包括連携協定					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	民間企業
目的	市政推進のために市と民間企業との役割を明記した協定を締結することで、官民連携を推進し市民サービスの向上を図る。
概要 (取組内容)	全庁横断的な施策等における連携を推進するため、連携事項を調整し、相互の役割を明記した協定書を取り交わす。また、協定の締結後は、相互の提案により連携を推進する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	5	2	5	6	6	
	決算額	(千円)	12	7	5	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12	7	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,188	2,196	2,141	2,141	2,141	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	60.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	全庁的に連携事項を照会し、各部署における課題解決に民間企業の力を取り入れた。	
成果	令和5年3月に株式会社Z0Z0との包括連携協定を締結した。	
課題	業務	民間企業からの事業提案を、各部署が所管する事業、または各部署における課題解決に結びつけるための調整に、多くの時間・労力を必要とする。
	組織、予算等	-
改善目標	引き続き、市の課題解決につながる効果的な連携協定となるよう調整する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	073 行政経営懇談会					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	複雑多様化する行政環境の下で、有識者及び市民から広く意見を聴き、分権時代にふさわしい効率的で効果的な行政運営にいかす。
概要 (取組内容)	懇談会における、以下の協議事項についての提言を受け、市長に報告する。 (1) 行財政改革に関すること。 (2) 行政評価に関すること。 (3) その他、行政運営の推進に関し必要と認める事項に関すること。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,507	267	563	571	571	
	決算額	(千円)	648	339	361	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	648	339	361	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,510	1,766	3,385	2,288	2,288	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.40	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	61.00	164.00	270.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	会議の傍聴
企画・立案、計画	特になし
実行	会議録の公開、市ホームページでの意見募集（いばらき電子申請による）
評価、検証	審議会等に関するアンケート（市民委員対象）

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和4年度の協議事項である「つくば市市民参加推進に関する指針（平成30年3月策定）」の検証を行うにあたり、論点の整理を行った。	
成果	平成29年度に策定した「つくば市市民参加推進に関する指針」の検証にあたり、これまでの市民参加の取組状況の報告を行い、多角的な視点による議論を踏まえた提言を受けた。	
課題	業務	会議開催にあたり、初めて参加する市民委員が発言しやすい環境作りを行い、継続的に他の会議にも参加したいと思える工夫等を行っていく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	これまで、市民参加推進の取組の検証を行政経営懇談会の協議事項として取り扱ってきたが、今後は市内での検証に移行することを予定しているため、令和5年度以降の行政経営懇談会の在り方や会議で扱う協議事項等について検討を行う必要がある。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	074 行政評価事業					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	効果的、効率的で質の高い行政サービスの実施
概要 (取組内容)	「P・D・C・A」のマネジメントサイクルにより、事務事業の継続的な改善に取り組む。市の現状、課題等を客観的に把握し、各施策や各事務事業の業務改善等に活用する。 事務事業評価の実施、窓口サービスアンケートの実施 等

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	97	89	45	48	48	
	決算額	(千円)	78	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	78	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,272	2,917	2,969	2,822	2,822	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	94.45	75.00	100.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	評価結果公表（ホームページ）
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	改善が取り組まれた事務事業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	927.0	870.0	881.0	886.0	0.0	0.0
指標の概要	事務事業の終了や統合等により、事務事業数は毎年度変わる。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新規事業の立ち上げに対応するため、事務事業マネジメントシートの新規作成の有無を各課で判断できるよう、リストを作成した。	
成果	令和4年度組織改編により、上下水道局が新設され、所属情報の新規追加（新規ID及びパスワードの発行）を行う必要があった。 システム所管課と連携を行い、所属情報の追加を迅速に行ったことにより、上下水道局所属の部署が事務事業マネジメントシートの入力を滞りなく行うことができた。	
課題	業務	事務事業マネジメントシートの作成についての問合せが多いことから、「よくある質問一覧」の更新を継続して行っていく必要がある。また、「よくある質問一覧」に記載があっても質問が多いものについては、見やすいよう工夫等を行っていく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	現在の行政評価システムでは、戦略プラン事業実施計画書の作成における入力項目が事業費のみであり、次期戦略プランの改定に向けて項目の見直しを検討する。また、主要施策の実績報告書と行政評価システムは類似する項目が多く見られることから、相互の連携について検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	075 パブリックコメント手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市パブリックコメント手続に関する要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、市職員
目的	市民の市政への積極的な参画を促進し、市民に対する説明責任を果たす。
概要 (取組内容)	市ホームページにおける実施予告の上、所定の場所での閲覧及び市ホームページへの掲載により計画等を公表し、案件に対する市民の意見を約1か月間募集する。実施機関は、市民から提出された意見を考慮して意思決定を行い、提出された意見及びこれに対する市の考え方を公表する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,508	1,477	1,411	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	45.00	20.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて当該年度に実施する予定のパブリックコメント手続の案件公表
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	案件当たりの提出意見数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	26.2	28.2	75.6	5.3	0.0
指標の概要	パブリックコメント手続を実施した案件1件あたりにおいて提出された意見数（小数点第2位以下四捨五入）					

2	指標名	意見募集を行った案件の数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	13.0	17.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	指標の概要	パブリックコメントを実施した案件の数 ※令和3年度追加※					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	パブリックコメント手続を実施する担当課に対して、事前に手続事務の標準フローを送付するなど、円滑な事務執行を支援した。	
成果	パブリックコメント手続の実施前から担当課との情報共有を密に行ったり、担当課からの相談に随時対応したりするなど、パブリックコメント手続の実施及び市HP等を通じた市民への周知を支援し、市民との協働による市政を推進した。	
課題	業務	市民との協働による市政の推進にあたり、引き続き市民からの意見がより多く集まるよう工夫を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き、パブリックコメント手続を実施予定の担当課への支援を適切に行うとともに、市民からの意見が多く集まるよう「つくスマアプリ」の活用等周知方法に関する助言を随時行う。また、市民との協働による市政の推進にあたり、パブリックコメント手続以外の市民参加手法の周知・助言も随時行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	077 職員提案制度					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市職員
目的	市政の更なる発展と職員の意識改革及び士気の高揚を図る。
概要 (取組内容)	職員から、①事務事業提案、②身近な提案、③改善結果報告の提出を求める。これらについて、調査会議（課長級）にて調査及び審査を実施し、審査委員会（副市長・部長級）にて審査を実施し、表彰候補の選定を行い、市長に報告し表彰を決定する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	50	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	22	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	22	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,532	1,489	1,362	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	50.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	職員提案・改善報告件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	30.0	42.0	22.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	年間の提案総件数 ※R04年度は代替企画の「職員なんでも意見・提案」の実施のため、実績はなし。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	職員の実感と納得感を高めるための改善に向けた代替企画として「職員なんでも意見・提案」を実施し、匿名提案など、提案の自由度を高めることや提案が実現に繋がりやすくするとともに、事後アンケートにより今後の改善に向けた意見を集めた。	
成果	改善のための代替企画の実施により、職場環境・行政サービス改善に向けた意見（全840件）を把握した。また、市長・副市長の確認と担当課による検討を進め、すぐに実施可能な63件について意見・提案に沿って実施することとした。	
課題	業務	代替企画の実施結果をもとに、今後の継続的な当制度のあり方を検討する必要がある。
	組織、予算等	今後の意見・提案を実現に移すために必要な予算の確保等実効性を高める仕組みを検討する必要がある。
改善目標	市が目指す組織づくりの方向性に対して、この制度がどのように貢献していくべきなのかを業務改善・組織開発の視点から再度、見直す。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	縮小
理由	代替企画の実施結果をもとに、今後の継続的な当制度のあり方を検討する必要があるため。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	081 未来構想等推進事業					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する人を含む）、市職員
目的	つくば市未来構想及び戦略プランの着実な推進により持続可能なまちづくりを進める。
概要 (取組内容)	つくば市未来構想を運用して行くに当たり、毎年度の進捗管理を行う。 未来構想等推進本部、未来構想等推進会議、未来構想等幹事会、未来構想等専門部会の運営。 第2期つくば市戦略プラン（2020年～2024年）施策評価の実施。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,037	533	13,840	13,136	
	決算額	(千円)	191	348	294	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	191	348	294	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,966	5,635	5,547	14,843	14,598	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.70	0.70	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	350.00	319.00	500.00	400.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて取組状況を公表
企画・立案、計画	未来構想等推進会議（広く関係者の意見を聞く場）
実行	特になし
評価、検証	未来構想等推進会議（広く関係者の意見を聞く場）

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	専門部会を中心とした庁内検討体制の定着、データに基づく議論ができる環境づくりのため、庁内共通のツール（人口ダッシュボード）の情報提供により、専門部会構成員に対してツール活用の浸透に努めるとともに評価項目の一部見直しを行った。	
成果	未来構想等推進本部、推進会議の枠組みのなかで、共通の施策目標を掲げる専門部会を通じて率直な情報交換を行い、更なる連携意識の醸成や、関連する施策の取組状況の把握により、出席職員の気づきの場づくり、計画推進の環境づくりを進めた。具体的には、令和3年度実績の評価、令和5年度当初予算編成に向けて、本市のおかれた状況等も踏まえた事業計画の検討を行った。	
課題	業務	第2期戦略プランから導入した基本施策評価とその評価を行う専門部会の運営にあたり、大幅な事務量増加があり、令和4年度は解消に向け取り組んだが、引き続き、工数削減が必要である。また、令和6年度計画終了に向けて次期計画の検討を進める必要がある。
	組織、予算等	専門部会により、共通の未来像を改めて確認できたほか、施策の取組状況の意見交換を通じて共通理解を深める気づきの場や連携意識の醸成を図る場が形成された。引き続き、未来構想、戦略プランの組織的な浸透、政策課題の理解などが深める必要がある。
改善目標	会議開催の業務手順の標準化を図り、職員の負担の軽減するとともに、社会環境の変化に柔軟に対応しながら、「2030年の未来像」を実現するために、次期計画における進行管理への反映を見据え、数値目標の設定の在り方・目標管理の課題整理等も進めるなど取組の高質化を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	953 大規模事業評価制度手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針、つくば市大規模事業評価委員会条例、つくば市大規模事業を実施する際の評価に関する要綱			SDGs		

事業の概要

対象	市職員（附属機関委員を含む）					
目的	大規模事業を実施する際に、事業の着手の妥当性を検証し、市としての対応方針の決定に資するとともに、意思形成過程の透明化を図る。					
概要 (取組内容)	内部評価（職員）及び外部評価（有識者で構成する附属機関）による大規模事業評価を実施するとともに、その過程及び結果を公表する。					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	781	240	269	277	277	
	決算額	(千円)	0	410	7	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	410	7	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,385	3,342	1,485	1,485	1,485	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.40	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	250.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	大規模事業評価実施件数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	大規模事業評価を実施した事業数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	評価会議（庁内会議）の自己評価及び大規模事業評価委員会（附属機関）の調査・審議の円滑実施に向け、他自治体の実施状況について情報収集を行い、職員向け運用マニュアルの充実を図った。	
成果	適用除外案件の公表（1件）により、市の意思形成過程の透明化を図った。また、庁内予定案件調査を実施し、職員へ当該制度の周知や大規模事業評価対象案件の把握を行った。	
課題	業務	大規模事業立案時の重要検討事項について、職員向け運用マニュアル等を用いて施設整備事業担当職員の理解浸透を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和3年度（2021年度）に初めて実施した自己評価を踏まえ充実させた職員向け運用マニュアルを具体的な評価プロセスで活用し、効果を確認する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	080 市民参加推進に関する事業						
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費				担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約	16				係名	行政経営係	
戦略プラン	I-1	3	1	市政情報等の発信		新規・継続	継続
	I-1	3	2	審議会等への公募市民委員の参加推進		事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市市民参加推進に関する指針					事業体制	職員のみ
	根拠法令等						事業期間
					SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
						17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学している人を含む）、市職員
目的	市政運営の過程において、市民が市政に意見を反映させるための機会をつくる。
概要 (取組内容)	市民参加の実施予定及び結果の取りまとめ、公表 各課等で所管する附属機関及び懇談会等の市民委員選考状況の管理 無作為抽出による委員等候補者の登録管理 市民委員意見交換会及び市民委員アンケートの実施 庁内アンケートの実施

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	537	6	25	32	32	
	決算額	(千円)	15	13	15	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	15	13	15	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,510	2,294	2,166	2,166	2,166	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	61.00	100.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	市ホームページでの情報発信、市民委員アンケート
評価、検証	行政経営懇談会

指標の推移

指標名	審議会等で自身の意見を言うことができた市民委員 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	86.6	82.0	83.4	82.0	0.0
指標の概要	審議会等に参加した市民委員へのアンケートで、意見を「言うことができた」「どちらかというと言うことができた」と回答した人の割合					

2	指標名	市民委員を募集した附属機関及び懇談会等 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民委員の募集が可能な附属機関及び懇談会等のうち、実際に市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合（個別施策 I-1-③市政への市民参加の推進 指標 1）					
3	指標名	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	34.0	0.0	38.0	40.0
	実績	29.4	0.0	30.7	30.6	0.0	0.0
	指標の概要	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合（基本施策 I-1 市民と共に創るまちづくりを推進する 指標）					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	より無作為抽出による委員等候補者の関心がある分野を把握できるよう、同意書の項目を見直し、名簿の更新を行った。
成果	平成30年度から取り組んできた無作為抽出による委員等候補者名簿の活用が市内に浸透してきたことにより、名簿からの市民委員登用者数が増加した。 【委員等候補者名簿登用者数】 H30:1人、R1:1人、R2:3人、R3:14人、R4:30人
課題	<p>業務 「つくば市民意識調査」の「あなたは、つくば市には、市民が市政に参加できる環境が整っていると思いますか。」という設問に対する「わからない」の回答率が、R4年度調査では29.3%であった。「わからない」は無関心であることも考えられることから、より関心が高まるような取組が求められる。</p> <p>組織、予算等 特になし</p>
改善目標	令和4年度行政経営懇談会の提言を踏まえ、幅広い世代の市民の積極的な参加を促進するため具体的な取組を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	058 つくば市OB人材活動支援事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン	II-2	2	1	生涯にわたる学びの場の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	-				事業期間	毎年度
根拠法令等	-				SDGs	11住み続けられるまちづくりを
						16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	高度な知識や専門技術を持つシニア（概ね50歳以上）、市民
目的	研究学園都市の特色である高度な知識や専門技術を持つシニア層の方々が、現役引退後もいきいきと活動できるよう支援する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> 高度な知識や専門技術を持つシニアの方が自らの専門分野を登録し、講師派遣や助言等を希望する方に「つくば市シニア・エキスパート」として紹介する。 「つくば市シニア・エキスパート便覧」の作成・配布とともに、ホームページへの掲載により事業の周知を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	345	76	9	9	9	
	決算額	(千円)	0	0	9	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	9	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	1,416	1,411	1,411	1,411	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市シニア・エキスパートの登録、ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	登録者の活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	590.0	680.0	690.0	700.0	300.0	700.0
	実績	668.0	123.0	6.0	4.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策II-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備 指標2)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が激減したものの、終息を見据え、パンフレットの配布やホームページ等における周知を継続的に実施した。
成果	依然として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている中ではあるが、パンフレット・便覧の配布やホームページ等における周知を継続的に実施したことに加え、令和5年度以降のV字回復へ弾みをつけるため、高齢福祉課発行のシニア向け冊子へも掲載することで、事業を広く周知した。
課題	<p>業務</p> <p>登録者の高齢化に伴い、活動の継続を断念する場合が見受けられる。加えて、定年延長を始めとする雇用制度の変化により新規登録者数が減少傾向にある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>他部署において類似の取り組みがあることや、講師の多くは研究機関や大学との関係があることから、本事業を発展させるに当たっては、生涯学習や科学技術を所掌する他部署と連携する必要がある。</p>
改善目標	継続した周知を図るとともに、利用者のニーズや登録者の活動意欲に沿った効果的な活用方法を検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	1	計画から大幅に遅れている。(未達成)
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	076 指定管理者制度手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン	II-4	2	2	民間活力導入の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	指定管理者制度に関する基本方針				事業期間	毎年度
根拠法令等	公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				SDGs	11住み続けられるまちづくりを
						17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民、事業者、市職員
目的	住民サービスの向上を図るとともに、施設運営経費等の効率的活用を図る。
概要 (取組内容)	各担当課に対し指定管理者導入事務に係る調整、支援に加え、新規導入施設を把握するため導入調査を実施するとともに、新規及び更新施設を対象として、指定管理者候補者選定検討会議を実施する。また、指定管理者による継続的・安定的な管理・運営を目指し、第三者評価を含めたモニタリングの実施を支援する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	911	385	699	2,617	2,027	
	決算額	(千円)	0	281	491	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	281	491	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,532	4,390	4,689	3,213	2,969	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.50	0.50	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	400.00	525.00	200.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	市ホームページでの情報発信
評価、検証	指定管理者候補者選定検討会議の開催、公の施設指定管理者第三者評価会議の開催

指標の推移

1	指標名	指定管理者選定件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	6.0	1.0	5.0	2.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	6.0	0.0	0.0
指標の概要	指定管理の選定を行う指定管理施設数						

2	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	6施設の指定管理者選定を実施するに当たっては、担当課との事前調整を密に行うとともに、提出書類の計画的なチェックにより選定事務の円滑化が図られた。また、評価においても、内部評価における評価理由の明確化を図るため、担当課と十分な調整を行った。	
成果	6施設の指定管理者選定及び前年度の指定管理者による管理運営状況に関する評価結果を市ホームページで公表することで、事業の透明性を確保し、市民に適切な情報を提供できた。指定管理者選定では、新規施設を中心に担当課への適切な支援により、予定どおり選定事務を進めることができ、第三者評価では、過去2回の経験に基づく意見と今後に向けた提案を受けた。	
課題	業務	評価における評価理由の明確化は図られたものの、不明確な基準や根拠資料の不足が見られた。また、評価にかかる時間・作業量も多く、効率化が求められる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	外部の知見も活用しながら、評価を行う者にとっても、評価結果を見る者にとっても、シンプルかつわかりやすい評価のあり方を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	078 PPP/PFI優先的検討規程策定事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン	II-4	2	2	民間活力導入の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ	

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設等の整備・運用に際し、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進める。
概要 (取組内容)	公共施設等の整備及び運営を計画するに当たり、従来型手法に優先してPPP/PFI手法を検討するためのルール作りを検討する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2	2	2	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	681	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国や関係機関から提供を受けた情報の確認を行うとともに、他自治体への調査を行った。	
成果	総務省主催の規程の運用状況等に係る研究会への参加（令和5年2月）や令和4年9月に改正されたPPP/PFI手法導入優先的検討規程策定の手引（内閣府）の研究を進めるとともに、本市と同じく大規模事業評価制度を導入している自治体に同制度を踏まえた当規程の運用方法に関する調査を行い、規程の策定及び運用体制の構築に向けた準備が進められた。	
課題	業務	内閣府及び総務省からPPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定及び運用について、人口10万人以上の自治体に対して要請が出されており、規程の策定及び運用体制の検討が必要である。
	組織、予算等	施設整備事業に関する知識とPPP/PFI事業に対するノウハウが不足している。
改善目標	施設整備事業等の所管課や契約事務所管課と連携を図り、規程の策定及び運用体制の構築を進めていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	